

「高放射線区域での作業最適化による被ばく低減」

Dong-Sup Shin, Hana Inspection & Engineering Co., Ltd (韓国)

高放射線区域での作業員の被ばくを低減するために、高放射線区域の区分け（ゾーニング）管理の改善、作業開始前のミーティングの改善、ホットスポット及び日／週／月単位での兆候場所へのラベル付け、並びに、作業員の遮蔽衣服の改善が実施された。

その結果、2009年1月1日から12月31日までの期間で、合計で105.54 man-mSvの線量が低減された。その内訳は、作業のためのミーティングの改善によるものが80.17 man-mSv、廃棄物の暫定貯蔵の改善（高放射線区域の区分け管理の改善に属する）によるものが11.35 man-mSv、そして放射線遮蔽の改善によるものが14.02 man-mSvであった。

今後の計画は、以下の通りである。

- ・ 高放射線区域での作業方法の改善策とその拡張に関する結論:2010年8月28日 - 2010年10月30日
- ・ 全部門への通達:2010年12月30日
- ・ 高放射線区域での作業方法の追加改善:2011年前半